

法律情報

著作権 © 2015 ZTE CORPORATION.

無断複写・転載を禁じます。

ZTE Corporationからの書面による事前の許可なしでは、本印刷物のコピーやマイクロフィルムを含む機械的な方法により、無断で引用、複製、翻訳、あるいは利用することを禁じられています。

通知

ZTE Corporationは事前の通知を行わず、印刷エラーの修正やガイド内の仕様を更新する権利を保有します。

製品モデルについての詳しい情報は、ZTEの公式ウェブサイト(www.zte.co.jp)をご参照ください。ウェブサイト上の情報はより最新です。

免責条項

ZTE Corporationは無断にソフトウェアの修正が原因で発生した故障や損害に対して、いかなる法的な責任を負うことができません。

本ガイドにて使用された画像やスクリーンショットは実際の製品と異なる場合があります。本ガイドの内容は実際の製品やソフトウェアと異なる場合があります。

商標

ZTEとZTEのロゴはZTE Corporationの商標です。

Google(グーグル)とAndroid(アンドロイド)はGoogle, Incの商標です。

Bluetooth®商標とロゴはBluetooth SIG, Incの所有であり、ZTE Corporationはライセンスに基づいて使用しています。



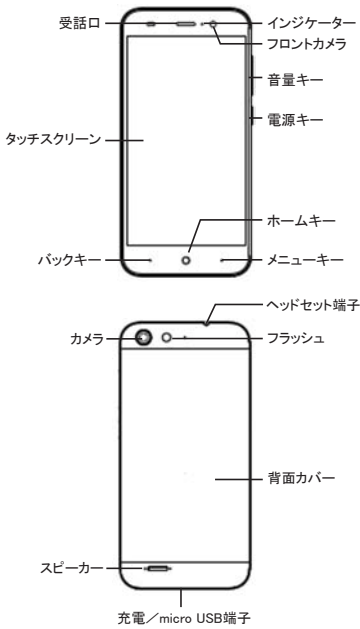
microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

その他の商標や商品名は、それぞれの所有者の資産です。

バージョン: R1.0

発行年月: 09.2015

各部紹介



キーの説明

キー	機能
電源キー	<ul style="list-style-type: none">押し続けて本機の電源を切ったり、再起動や機内モード(電波を送信しない状態)を設定することができます。押すと、本機のスリープの設定/解除ができます。
ホームキー	<ul style="list-style-type: none">押すと各アプリや画面表示からホーム画面へ戻ります。押し続けるとグーグル検索が表示されます。
メニューキー	押すと最近利用したアプリが表示されます。
バックキー	押すと前画面に戻ります。
音量キー	押すか、あるいは押し続けると音量を調整できます。

使用開始にあたって

SIMカードの挿入

SIMカードを挿入または取り出す前に、本機の電源を切ってください。

⚠ 危険

- 本機の損傷を防ぐため、標準規格以外のnano-SIMカードやmicro-SIMカードを使用しないでください。標準規格のnano-SIMカードやmicro-SIMカードは通信事業者から購入可能です。

- トレイ引き出しツールの先端をSIMカードトレイの穴に差し込んでください。



- SIMカードトレイを引き出し、図の方向にSIMカードをトレイに載せ、元に戻してください。



🔪 注意事項:

- LTE、WCDMA、あるいはGSMのmicro-SIMカードはカードスロット1に挿入してください。
- GSMのnano-SIMカードはカードスロット2に挿入してください。注意: カードスロット1はmicro-SIMカードのみ挿入可能です。カードスロット2はnano-SIMカードとSDカードを挿入可能です。

MicroSDHC™カード(非同梱)の挿入

MicroSDHCカードは本機の電源が入っている状態でも挿入または取り出すことが可能です。MicroSDHCカードを取り出す前に、トレイから外す必要があります。

- トレイ引き出しツールの先端をmicroSDHCカードトレイの穴に差し込んでください。



- トレイを引き出し、図の方向にカードをトレイに載せ、元に戻してください。



🔪 注意事項:

一部のアプリは正常に動作するために、あるいは特定のデータを保存するためにmicroSDHCカードの挿入が必要となります。microSDHCカードは挿入されたままにしておき、ランダムに取り出したり交換しないことを推奨いたします。

バッテリーの充電

電源をオンにし、信号を検知して2-3の通話を行えるバッテリー残量を確認しておく必要があります。出来るだけ早くバッテリーをフル充電してください。

⚠ 危険

ZTE認定の充電器と充電ケーブルのみ使用してください。非公認の付属品を使用すると、本機の損傷やバッテリーの爆発の原因となります。

⚠ 警告:

お客様自身で本機内の充電式バッテリーを取り外したり、交換しないでください。バッテリーの交換はZTEまたはZTEの公認サービス業者のみ行うことが可能です。

- アダプタを充電端子に接続してください。アダプタは正しい向きで挿入してください。



- 充電器を標準のAC電源コンセントに差し込んでください。
- バッテリーがフル充電されたら、充電器を外してください。

🔪 注意事項:

バッテリー残量が非常に低い場合は、充電を開始しても本機の電源が入らない場合があります。その際は、本機を最低20分間充電してから再度お試しください。長い時間充電しても本機の電源が入らない場合は、カスタマーサービスへお問い合わせください。

本機の電源をオン/オフにする

電源を投入する前に、バッテリーが充電されたことを確認してください。

- 電源キーを押し続けると、本機の電源がオンになります。
- オフにする場合は、電源キーを押し続けてオプションメニューを表示させてください。「電源を切る」をタッチしてください。

本機を再起動する

- 画面がフリーズしたり、反応に時間がかかり過ぎる場合は、電源キーを約10秒押し続けて本機を再起動してください。
- 電源キーを押し続けてオプションメニューを表示させてください。「再起動」をタッチしてください。

本機をオン(ウェイクアップ)する

しばらく使用されないと、本機は自動的にスリープモードに入ります。バッテリー節約のために画面表示がオフになり、誤操作を防ぐためにキーはロックされます。

画面をオンにしてキーのロックを解除すれば本機はオンになります。

- 電源キーを押して画面表示をオンにしてください。
- このアイコンを上にもスワイプしてロック解除してください。

🔪 注意事項:

PINやパスワードなどのロック解除方法に設定している場合は、解除パターンを画面上で描いたり、PIN/パスワードを入力して本機のロックを解除してください。

タッチスクリーンを使用する

タッチスクリーンを通じて、様々なタッチ動作を使用して本機を操作できます。

- タッチ
画面の表示項目やアイコンなどを指で軽く触れ、すぐに離して選択/実行します。



- ロングタッチ
画面の表示項目やアイコンなどを指で長く触れ続けて実行します。



- スワイプまたはスライド
スワイプ/スライド動作とは、画面を垂直または水平方向に、指で素早くドラッグすることです。



- ドラッグ
画面の表示項目やアイコンなどを指で触れたまま、目的の位置まで移動して指を離します。



- ピンチ一部のアプリ(マップ、ブラウザ、ギャラリーなど)では、二本の指で画面を触れ、指の間隔を開いて拡大(ズームイン)、または閉じて縮小(ズームアウト)します。



- 画面の回転本機の向きにあわせて、画面表示が縦方向、または横方向に自動的に切り替わります。ただし、ホーム画面や一部の機能、アプリによっては画面表示の方向が切り替わらない場合があります。

安全上のご注意

	運転中に本機を使用しないでください。
	給油中に本機を使用しないでください
	身に着けて使用する場合は体から15mm以上離して下さい。
	本機は強い光や点滅光を放つことがあります。
	小さな部品をのどに詰まらせる危険があります。
	焼却廃棄を施さないでください
	本機は大きな音が出ることがあります。
	聴覚障害を招く恐れがあるため、大きな音量で長時間聴かないようにしてください。

	磁気メディアに接触させないでください
	極端な高温または低温は避けてください。
	ペースメーカーやその他の医用機器に近づけないでください
	液体に触れさせず、常に乾いた状態に保ってください
	病院などの医療機関では、要請に応じて電源を切ってください
	分解をしないでください。
	飛行機内や空港では、要請に応じて電源を切ってください
	指定以外の付属品は使用しないでください。
	爆発の危険がある場所では電源をお切りください。
	緊急時の通信には本デバイスに頼らないでください

注意散漫防止

運転中

事故の可能性を避けるために、運転中は十分注意してください。運転中に携帯を使用すると(ハンズフリーも含め)、集中が途切れ、事故に繋がる可能性があります。運転中の無線機器の扱いに関しては、現地の法律や規制に従ってください。

機械の操作中

事故の可能性を避けるために、機械の操作中に十分注意してください。

製品の取り扱い

取り扱いと使用に関する一般的な注意

本機の使用方法による結果を生じる事態については、お客様ご自身が責任を負うこととなります。

本機の使用が禁止されている状況では、必ず本機の電源をオフしてください。ユーザーと環境を守るための安全規制の範囲内で、本機を使用してください。

- 本機と付属品は常に丁寧に扱い、清潔で埃のない場所に保管してください。
- 画面とカメラレンズは清潔に保ってください。画面やカメラレンズが汚れていると、本機の反応が鈍ったり、画像の品質が低下する場合があります。
- メガネ用の布巾など、柔らかい素材の布で本機と付属品を拭いてください。アルコールや他の腐食性の物質を使用したり、機器内部に浸入させたりしないでください。
- 本機と付属品を炎や火のついたタバコに近づけないでください。本機と付属品を液体、高温度の環境に置かないでください。
- 本機と付属品を強く落としたり、投げたり、曲げたりしないでください。
- 本機と付属品の上に絵を描かないでください。
- 本機と付属品を分解しないでください。指定された担当者のみ行うことができます。
- 本機と付属品を極端な温度(最低 -[5]°C～最高 + [50]°C)あるいはその可能性のある環境では使用したり、置いたりしないでください。
- 本機を給湯器、電子レンジ、加熱調理機器などの加熱機器や高圧容器の近辺もしくは内部に置かないでください。本機に損傷が生じる可能性があります。
- 電子機器の廃棄に関しては、地域の規制をご確認ください。
- 座る際に損傷を起こす場合があるため、本機を後ポケットに入れて持ち歩かないでください。

小さなお子様

本機と付属品を小さなお子様の手の届く範囲に置いたり、遊ばせたりしないでください。

自分や他人に怪我をさせたり、本機に損傷を与える可能性があります。本機には鋭い角を持つ小さな部品があり、怪我の原因になったり、外れて喉に詰まる可能性があります。

消磁

消磁のリスクを避けるため、電子機器や磁気メディアと長時間接触させないでください。

静電気(ESD)

Nano-SIMカードの金属接触部に触れないでください。

通常の使用位置

通話する場合、本機を耳にあて、下部は口元に近づけてください。

エアバッグ

本機をエアバッグの上やエアバッグ作動空間に置かないでください。怪我の原因となります。

本機の使用が禁止されている状況では、必ず本機の電源をオフしてください。ユーザーと環境を守るための安全規制の範囲内で、本機を使用してください。

突然の発作／失神

本機は強い光や点滅光を放つ場合があります。ゲームをする時や動画を鑑賞する際の点滅光や強い光で突然の発作や失神を起こす方がいます(以前に経験があるかどうかに関わらず)。そのような状況で、お客様やご家族の中で突然の発作や失神を起こされた経験がある場合は、医療機関にご相談ください。

反復性ストレス障害

反復性ストレス障害(RSI)のリスクを軽減するため、本機でテキストメッセージを送受信する場合やゲームを楽しむ場合は以下の点に注意してください:

- 本機を強く握り過ぎないようにしてください。
- ボタンは軽く押してください。
- メッセージのテンプレートや予測入力など、ボタン入力の回数を減らすための機能を利用してください。
- 休憩をとり、ストレッチしてリラックスしましょう。

大音量

本機は大音量を鳴らすことがあり、聴覚に障害をもたらす場合もあります。ヘッドフォン、Bluetoothステレオヘッドセット、その他のオーディオ機器を利用する際は、音量を下げてください。

本機の発熱

本機は充電中や通常の使用中に温かくなる場合があります。

電気安全

付属品

認定された付属品のみ使用してください。互換性のない製品や付属品に接続しないでください。

バッテリー端子の接触や短絡を防ぐため、コインやキーホルダーなどの金属製品に触れないように注意してください。

バッテリーの表面を鋭いもので突き破ることは絶対に避けてください。

車両への接続

本機のインターフェースを車両の電子システムに接続する際は、専門の業者にご相談ください。

故障または破損した製品

本機と付属品を分解しないでください。

指定された担当者のみが電話と付属品のサービスまたは修理を行うことができます。

本機(または付属品)が水没したり、破裂したり、強烈に落下した場合は、指定のサービスセンターで検査を受けるまでは使用しないでください。

無線周波干渉

干渉の概要

ペースメーカーや補聴器などの医療製品の近くで本機を使用する場合は、十分に注意してください。

ペースメーカー

ペースメーカーの製造者は、ペースメーカーへの干渉を防ぐため、本機とペースメーカーの間は少なくとも15cmの距離を置くことを推奨しています。そのため、本機をお客様のペースメーカーの位置とは逆の方の耳に当て、胸ポケットには入れないでください。

補聴器

補聴器や人工内耳を利用されている方は、無線機器を近くに置いたり、使用している時に、ノイズが聞こえる場合があります。

干渉のレベルは補聴器の種類と干渉元との距離と関係があります。距離を離すと、干渉レベルを下げることが可能です。ほかの方法については、補聴器のメーカーにお問合せください。

医療機器

本機を使用することで、お客様の医療機器の動作に干渉を起こすかどうかについては、担当の医療機関にお問合せください。

病院

敏感な医療機器への干渉を防ぐため、病院、診療所、医療施設では、要請に応じて本機の電源をオフにしてください。

飛行機

空港や機内ではスタッフの要請に従って本機の電源をオフにしてください。

機内での本機の使用については、機内スタッフにお問合せください。「機内モード」を設定する場合、ご搭乗の前にモードをオンにしてください。

車内での干渉

電子機器に干渉を与える可能性があるため、外部アンテナ付きのハンズフリーキットが搭載されていない限り、一部のメーカーでは車内での携帯電話の利用を禁止していることをご了承ください。

爆発性の環境

ガソリンスタンドや爆発が発生する可能性がある環境では、掲示案内に従って本機や他の無線機器の電源をお切りください。爆発が発生する可能性がある環境とは給油所、ボートの船倉、燃料や化学物質の輸送や保管施設、それに空気中に化学物質や穀物、埃、金属粉などの粒子を含むような環境です。

起爆装置や爆発現場

爆発現場など爆発作業への干渉を防ぐため「双方向無線」や「電子機器」の電源を切るよう掲示案内されている場所では、携帯電話や無線機器の電源をオフにしてください。

SAR

この機種Blade V6の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話は国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.182 W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.299 W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリを使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

技術基準適合の電磁的表示について

本機には、電波法及び電気通信事業法に基づく技術基準に適合していることを証明する技適マーク、および使用に際しての注意事項を、以下の操作で確認することができます。

技術基準適合の確認方法

- 本機の電源をオンにします。
- ホーム画面上で[設定]を選択します。
- 一番下まで画面をスクロールし、[端末情報]―[法的情報]―[認証情報]を選択すると、登録されている認証情報の一覧が表示されます。